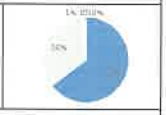
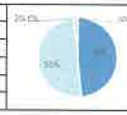
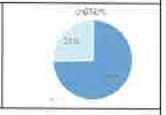
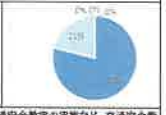
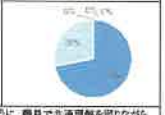
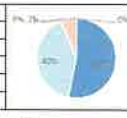
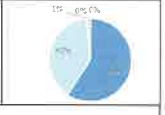
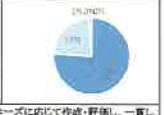
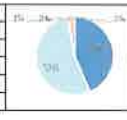
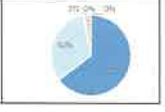
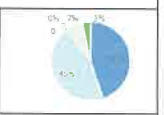
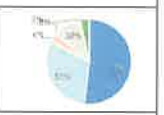
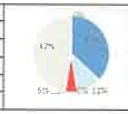
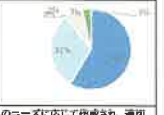
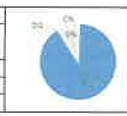
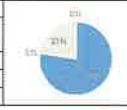
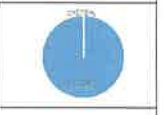
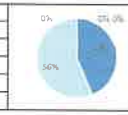
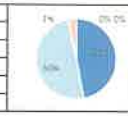
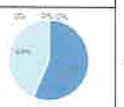
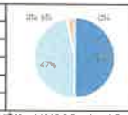
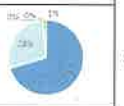
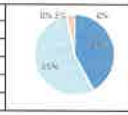
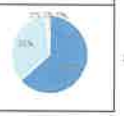
令和２年度学校評価について（集計結果）

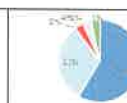
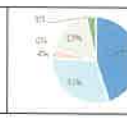
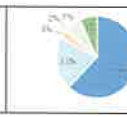
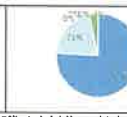
5つの柱	評価項目	NO	職員	R元年度(82名)	肯定的評価	R2年度（71名）
学校経営	開かれた学校づくり	1	PTA総会や授業参観、ホームページや学校だより等を活用、病弱教育への理解・啓発や学校経営方針等をわかりやすく発信している。		→80%以上を維持	
	開かれた学校づくり	2	保護者や地域と連携しながら、学校運営に取り組んでいる。		→80%以上を維持	
	地域と連携した防災	3	地域や病院と連携しながら、確実で安全な危機管理対応に取り組んでいる。		→80%以上を維持	
	地域と連携した防災	4	安全で安心して学校生活が送れるよう、防災教育にも取り組んでいる。		→80%以上を維持	
	交通安全指導	5	登下校時の通学路（病棟からの通路も含む）の安全にかかる点検や指導、交通安全教室の実施など、交通安全教育に取り組んでいる。		→80%以上を維持	
学習指導	人材の育成	6	研究や研修を通して専門性を高め、児童生徒の実態に応じた指導ができるように、職員で共通理解を図りながら指導に取り組んでいる。		→80%以上を維持	
	一人一人のニーズに応じた学習指導・学習支援	7	個々のニーズに応じた学習環境を整えるよう取り組んでいる。		→80%以上を維持	
	一人一人のニーズに応じた学習指導・学習支援	8	個々の児童生徒に対する「個別の指導計画」や「個別の支援計画」を個々のニーズに応じて作成・評価し、一貫した指導に活かしている。		→80%以上を維持	

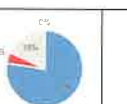
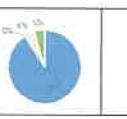
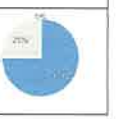
保護者	R元年度（19名）	肯定的評価	R2年度（29名）
PTA総会や授業参観、ホームページや学校だより等を活用、病弱教育への理解・啓発や学校経営方針等をわかりやすく発信している。		→80%以上を維持	
保護者や地域と連携しながら、学校運営に取り組まれている。		↑80%以上に改善	
防災に対して、適宜見直しや改善が迅速に図られている。		↑伸びているが80%以下	
安全で安心して学校生活が送れるよう、防災教育にも取り組まれている。		↑伸びているが80%以下	
登下校の通学路（病棟からの通路も含む）の安全に係る点検や指導、交通安全教室などの交通安全教育に取り組まれている。		↑伸びているが80%以下	
個々の実態に応じて、学校内で共通理解を図り指導に取り組んでいる。		→80%以上を維持	
意欲的に学習に取り組んでいる。		→80%以上を維持	
個々の児童生徒に対する「個別の指導計画」や「個別の支援計画」はそれぞれのニーズに応じて作成され、適切に評価されており、一貫した指導・支援に活かされている。		→80%以上を維持	

児童生徒	R元年度（22名）	肯定的評価	R2年度（18名）
安心して登校できている。		→80%以上を維持	
台風や地震などの災害について勉強し、自分の身を守ることができる。		↑80%以上に改善	
交通ルールを勉強し、安全に登校することができる。（病棟からの登下校か、安全に通えている。）		↑80%以上に改善	
先生は、公平に接してくれている。		↑80%以上に改善	
毎日の学校は楽しい。		→80%以上を維持	
将来の夢や希望を持つことができる。		↑伸びているが80%以下	

令和２年度学校評価について（集計結果）

6つの柱	評価項目	NO	選択	R元年度(41名)	肯定的評価	R2年度（71名）
学習指導	基礎学力の定着	9	児童生徒の実態を適切に評価し、個々の評価に応じた指導方法を学習に活かしている。		→ 80% 以上を 維持	
	コミュニケーション能力の育成	10	児童生徒の意見や考えを引き出しながら、授業を進めることができている。		→ 80% 以上を 維持	
生徒指導	人権・道徳教育の推進	11	自己肯定感を高め、人権や生命の尊厳を育む教育を進めている。		→ 80% 以上を 維持	
キャリア教育	キャリア教育の推進	12	個々の発達段階や発達課題の達成のために必要な意欲・態度や技能を育てている。		→ 80% 以上を 維持	
特色ある教育活動	地域・関係機関等との連携の拡充	13	医療機関等の関係機関と連携し、相互理解の下、児童生徒の指導にあたっている。		→ 80% 以上を 維持	
	地域・関係機関等との連携の拡充	14	学習の遅れを含め、不安感ができるだけ生じないよう、必要な情報の提供や相談のしやすさ等の工夫に努めている。		→ 80% 以上を 維持	
	一人一人のニーズに応じた学習指導・学習支援	15	パソコンや動画教材等を積極的に活用し、個々の理解や興味関心等に応じた授業の工夫や意欲の向上を図っている。		→ 80% 以上を 維持	

保護者	R元年度（19名）	肯定的評価	R2年度（39名）
子どもの実態を適切に評価し、個々の評価に応じた指導方法が学習に活かされている。		→ 80% 以上を 維持	
子どもの意見や考えを引き出しながら、授業が進められている。		↓ 80% 以下に 低下	
自己肯定感を高め、人権や生命の尊厳を育む教育が行われている。		→ 80% 以上を 維持	
子どもの発達段階や発達課題の達成のために必要な意欲・態度や技能を育てル指導が行われている。		→ 80% 以上を 維持	
教育や医療、福祉や労働等の関係機関が連携し、児童生徒の指導にあたっている。		→ 80% 以上を 維持	
学習の遅れを含め、不安感ができるだけ生じないよう、様々な情報の提供や相談のしやすさ等の工夫に努めている。		↓ 昨年度 より 低下	
パソコンや動画教材等を積極的に活用し、個々の理解や興味関心に応じた授業の工夫や意欲の古城が図られている。		↑ 80% 以上に 改善	

児童生徒	R元年度（22名）	肯定的評価	R2年度（14名）
先生の授業はわかりやすい。		→ ８０％ 以上を 維持	
自分の考えや意見が言いやすいクラスだ。		↑ ８０％ 以上に 改善	
自分のこと、友だちのことを大切にできる。		→ ８０％ 以上を 維持	
なりたい自分を想像し、学ぶことができている。		↑ 伸びて いるが ８０％ 以下	
勉強や病気などの悩みを相談しやすい。		↑ 伸びて いるが ８０％ 以下	
視聴覚機器（テレビやパソコンなど）を使い、授業に興味や関心を持っているようになった。		↑ 伸びて いるが ８０％ 以下